

まちかどネットワーク

昭和52年から約50年にわたり、広報ふじの内容を音声収録しているボランティア団体「やまびこ」。視覚などに障害があることによって文字を読むことが困難な人を対象に、広報ふじの文字情報を音声に替え、CDで「声の広報」を利用者の自宅に届ける活動を行っています。

声で届ける広報ふじ



音訳ボランティア

やまびこ

利用者が希望するものを提供していただきました」と、これまでの移ろいをお願いします。

お話を伺う中で、限られた収録時間内で読み上げることの難しさや、収録に入る前のミーティングの大切さ、人と人が切り替わるタイミングでの音量調整の工夫などを教えてくれました。

山田さんは「月に1回、8時間ほどかけて収録を行っています。家族に、『なぜそんなに長く続けているのか』を聞かれたことがあります。仲間に会える楽しさと、一つのを一緒につくりあげる達成感を味わっているうちに、年月が勝手に過ぎていきました」と笑顔で話します。

誰もが情報に手が届くように

代表の望月房子^{みつき}さんは、「ふだんなかなか会わない利用者や、市民福祉まつりなどでお会いできたときに、『いつもお世話になってます！』『毎月ありがとうございます！』と、声をかけてもらえたことがあり、とてもうれしく思いました。お互い顔は知らな



▲広報ふじを音訳する様子

くても、声と音訳でつながっているんだなと感じました」と話します。

また、活動に対する思いを尋ねると「声を張ったり、はつきりした声で伝えたりすること

を心がけていますが、声も歳をとるんですよ。メンバーは70代が多く、みんな体力的な面で大変さを抱えています。ですが、情報を知りたい人がいる、私たちの音訳を待ってくれている人がいると思うと、すごく活力が湧くんです。生きていく限り、ずっとこの活動を続けていきたいですね」と話してくれました。

声の広報は、視覚などに障害のある人はもちろん、活字を読むことが大変な人にも利用していただけるよう、中央図書館でCDの貸出しを行っています。

富士市の情報を目で読むだけでなく、長年培ってきた音訳ボランティア「やまびこ」の皆さんの声で聞いてみてはいかがでしょうか。



▲完成したCDを発送する様子

富士市社会福祉協議会
ボランティアセンター

☎ (64) 7100



▲詳しくはこちら